

鶴岡工業高等専門学校		開講年度	平成30年度 (2018年度)		授業科目	地理	
科目基礎情報							
科目番号		0005		科目区分	一般 / 必修		
授業形態		授業		単位の種別と単位数	履修単位: 3		
開設学科		創造工学科 (情報コース)		対象学年	1		
開設期		通年		週時間数	3		
教科書/教材		片平博文ほか (2017) 新詳地理 B, 帝国書院. 帝国書院編集部編 (2017) 新詳高等地図, 帝国書院.					
担当教員		澤 祥					
到達目標							
世界の人々の暮らしは地域ごとの特徴を持ち、これが自然と人間生活の係わり合いから生まれることを理解できる。「なぜ、その場所に、その様にそのものがなければならぬか」を地理学的に考えられるようになる。							
ルーブリック							
		理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
評価項目1		分布をもとに地理的思考ができる		授業内容の基本的事項を理解できる		授業内容の基本的事項を理解できない	
評価項目2							
評価項目3							
学科の到達目標項目との関係							
教育方法等							
概要		世界の諸地域の自然と社会 (人間生活) を、地名・事項の暗記ではなく、「なぜ、その場所に、その様にそのものがなければならぬか」を考えながら説明・考察する。					
授業の進め方・方法		教員と学生の発問・回答による双方向型授業によって実施する。					
注意点		教員の説明・発問をよく聞くことがポイントである。板書事項だけでなく、教員が話しただけの内容もノートできるようになることを望む。					
事前・事後学習、オフィスアワー							
授業計画							
		週	授業内容		週ごとの到達目標		
前期	1stQ	1週	地域による生活の違いを考える		地理的な考え方を理解できる		
		2週	生活舞台としての地球		地球の構成が理解できる		
		3週	緯度経度		緯度経度の原理を理解できる		
		4週	時差		時差を理解し時差の操作ができる		
		5週	地形		地形形成の原理を理解できる		
		6週	気候とはなにか		気候の意味が理解できる		
		7週	気候要素		機構三要素：気温・降水量・風に基本を理解できる		
		8週	気候因子 1		気候要素が場所によって変化する理由を理解できる		
	2ndQ	9週	気候因子 2		気候要素が場所によって変化する理由を理解できる		
		10週	ケッペンの気候区分 1		ケッペンの気候区分の原理を理解できる		
		11週	ケッペンの気候区分 2		ケッペンの気候区分の原理を理解できる		
		12週	ケッペンの気候区分 3		ケッペンの気候区分の原理を理解できる		
		13週	世界の気候と人間生活 1		ケッペンの13の気候型を理解できる		
		14週	世界の気候と人間生活 2		ケッペンの13の気候型を理解できる		
		15週	世界の気候と人間生活 3		ケッペンの13の気候型を理解できる		
		16週					
後期	3rdQ	1週	地球環境問題		地球環境問題の基礎を理解できる		
		2週	人種と民族		世界の人種民族紛争の原因を理解できる		
		3週	民族と国家		民族と国家の関係を理解できる		
		4週	ヨーロッパ 1		EUの基本的な事項を理解できる		
		5週	ヨーロッパ 2		EUの基本的な事項を理解できる		
		6週	ヨーロッパ 3		EUの基本的な事項を理解できる		
		7週	ヨーロッパ 4		EUの基本的な事項を理解できる		
		8週	アメリカ 1		新大陸アメリカの意味を理解できる		
	4thQ	9週	アメリカ 2		アメリカ合衆国の誕生を理解できる		
		10週	アメリカ 3		アメリカの人種民族問題を理解できる		
		11週	アメリカ 4		多文化主義の国アメリカ合衆国を理解できる		
		12週	中国 1		中国の現状を理解できる		
		13週	中国 2		中国の現状を理解できる		
		14週	韓国・北朝鮮とロシア		隣国の概要を理解できる		
		15週	ASEAN		ASEANの基本的事項を理解できる		
		16週					
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標							
分類		分野	学習内容	学習内容の到達目標		到達レベル	授業週
基礎的能力	自然科学	ライフサイエンス/アースサイエンス	ライフサイエンス/アースサイエンス	熱帯林の減少と生物多様性の喪失について説明できる。		3	
				有害物質の生物濃縮について説明できる。		3	
				地球温暖化の問題点、原因と対策について説明できる。		3	

評価割合							
	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	70	20	0	10	0	0	100
基礎的能力	70	20	0	10	0	0	100
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0